

みなべ町 南道商店街（中央通り商店街）

至田辺市

国道42号線

至和歌山

地元の魚を使った
美味しい干物屋
大孫商店

大黒屋の別家、
室井孫七が
大黒屋から独立
創業明治12年
現代5代目



仏壇・仏具から食器まで
カノコ屋

田辺藩主より
鹿の子屋の屋号
を授かり代々仏師
を業としている。
創業は不明だが
南部へ来て現代4代目



仕事終わりにほっと一息
居酒屋・うどん くましろ

魅惑の金山寺味噌
ちぐす屋

南部佐七が千楠屋
南部庄右衛門に
奉公して独立
創業明治43年
現代5代目



稲荷神社
町の無形文化財である奴行列は
ここから出発する。



新鮮な食材なら
みなべの冷蔵庫
スーパーたにくち

創業昭和19年
現代3代目



処方せん・漢方薬
池田薬局

南道の浜辺にあり
村役人が度々会合
をしたことから
会安と呼ばれる。
創業明治9年
現代4代目



南日高の名刹
勝専寺

本願寺第8世蓮如上人の
来錫、悪政をとった
野辺春和の攻略等
有名な寺歴がある。



国道424号線

くすりの事なら
日の出薬局

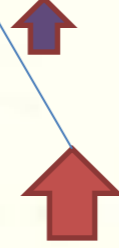
創業昭和15年頃
現代2代目



いつもあなたのお近くに
JAみなべいなみ南部支所



理容店
室井



ガスの事なら
寺本ニコニコ屋

創業昭和43年
現代2代目



中央通り商店街 南道商店街

みなべのまちの電器屋さん
オーモン電器

西岩代泰地家に大きな門が
あったので大門（オーモン）
泰地宗平が南部の濱田家を
継いで生家の屋号を取る。
創業明治7年 現代で4代目



生の魚を使った
絶品のかまぼこ
輝南かまぼこ

地元の魚を家で
美味しく
鮮魚 大阪屋

酒の事ならお任せ
松岩酒店

松嘉の別家中井岩吉が
松嘉から独立して南道で
酒屋を営む。創業は不明
現代14代目



ビール
お酒なら
高垣酒店



家の中をピカピカに
ダスキン日高

創業昭和42年
現代2代目



至龍神村

解説

熊野街道がこの地を通るようになったのは、江戸時代初期の寛永4年(1627年)頃、藩の役人や荷物の運送の利便を考え、街道の要所に伝馬所(宿駅)を設置した。岩代屋六兵衛が経営したと言われている。明治時代には、後の南部小学校になる南部町最初の公立学校が開設され、市町村制の施行により南部村役場が開設された。秋祭りの際には田辺藩初代藩主安藤直次が入城したのを模した町の無形文化財である”南道奴行列”が催される通りでもある。